

ドローン活用で省力化

松島町では、農閑期に松島町認定農業者連絡協議会主催のドローン講習会が行われた。



ドローンのメリットは省力化。従来の除草剤散布は主に動力噴霧機による粒剤の散布や液剤を田の中を歩行で散布する方法が主だった。これらの方法では田の面積が大きくなるにつれ、かなり労力が必要となってくる。

ドローンによる散布では、粒剤と液剤が使用でき、一度に1 haの散布が15分程で可能。田の外からプロポ（送信機）による操作を行うため、かなりの省力化となる。また、均一に除草剤を散布できるため、除草効果も高い。

講習会参加者の一人は、「一般的にはドローンを導入するために、講習を受け、その後機体を購入することになる。その際ネックになるのはやはり機体価格。私の場合は、ドローンをレンタルすることができたため、初期費用を抑えることができた。さらに、今まで専門業者に委託していた、いもち病・カメムシ防除の農薬散布も自身で行えるようになったため、費用を今までの5分の1に抑えることができ経費削減となった。ただし、バッテリーが1 haまでしか持たないため、複数のバッテリーを保有する必要がある」とドローンを導入した効果などを話していた。